

## 2019年度「アルミニウム製品」総需要見通し

アルミニウム調査会

## ① 総需要見通し総括

	2017年度実績 (平成29年度)	2018年度見込 (平成30年度)	対前年度比増減 (%)	2019年度見通し (平成31年度)	対前年度比増減 (%)
合計	4,252	4,265	+0.3%	4,274	+0.2%

\*四捨五入のため、合計値が合わない箇所あり(単位:千トン)

## ●2018年度見込み

総需要: 4,265千トン(前年度比+0.3%) -3年連続でプラスの見込み。

圧延品: 1,787千トン(前年度比▲3.4%) -詳細は「アルミニウム圧延品需要見通し」を参照

鋳造品: 455千トン(前年度比+2.2%) -海外生産用の自動車部品が堅調に増加

ダイカスト品: 1,046千トン(前年度比+1.9%) -海外生産用の自動車部品が堅調に増加

輸入: 500千トン(前年度比+13.0%) -アルミニウム圧延品、製品の輸入が増加

## ●2019年度見通し

総需要: 4,274千トン(前年度比+0.2%) -4年連続でプラスの見通し。

圧延品: 1,762千トン(前年度比▲1.4%) -詳細は「アルミニウム圧延品需要見通し」を参照

鋳造品: 460千トン(前年度比+1.2%) -国内の自動車生産は減少するも、部品輸出が堅調

ダイカスト品: 1,058千トン(前年度比+1.2%) -国内の自動車生産は減少するも、部品輸出が堅調

輸入: 521千トン(前年度比+4.2%) -増加率は減少するも、前年度と同じ傾向が継続

## ② 主要部門別補足説明

&lt;圧延品&gt;

2018年度 (▲3.4%)	○缶材— ▲4.0% ・ ボトル缶の減少、ビール類の減少、輸入缶材の採用等 ○自動車材— +1.3% ・ 軽量化ニーズを受け、パネル材を中心に伸長 ○建材— +0.2% ・ 東京五輪関連特需、災害復興やブロック塀のアルミフェンス置き換え等
2019年度 (▲1.4%)	○缶材— ▲3.3% ・ ボトル缶は前年並みに落ち着き、ビール類や輸入缶材は前年同様の傾向が継続 ○自動車材— +0.9% ・ 乗用車向けは前年同様、好調継続を見通す ○建材— ▲1.9% ・ 住宅着工戸数の減少、東京五輪関連特需の縮小等により減少

注1): 左欄の(%)は前年度比。以下同様

< 鋳造品 >

2018 年度 (+2.2%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>鋳造品の 9 割以上が自動車向け。国内自動車の生産台数は前年度微減を見込むも、輸出用自動車部品の需要が堅調なため鋳造品は増加</li> </ul>
2019 年度 (+1.2%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内の自動車生産は減少するも、部品輸出の増加を見通す</li> </ul>

< ダイカスト品 >

2018 年度 (+1.9%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダイカスト品の約 9 割が自動車向け。国内自動車の生産台数は前年度微減を見込むも、輸出用自動車部品の需要が堅調なためダイカストは増加</li> </ul>
2019 年度 (+1.2%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内の自動車生産は減少するも、部品輸出の増加を見通す</li> </ul>

< 電線 >

2018 年度 (▲2.5%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気機械向けや自動車向けなどは堅調に推移するものの、電力会社の設備投資が依然として低調なためマイナスを見込む</li> </ul>
2019 年度 (+0.7%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>設備投資は減少するが、電気機械や自動車などの分野でアルミ化が進展</li> </ul>

< 鉄鋼（鉄鋼脱酸用アルミ） >

2018 年度 (±0%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>2018 年度の粗鋼生産は 2017 年度並の水準が見込まれ、鉄鋼脱酸用アルミも前年度並を見込む</li> </ul>
2019 年度 (+0.5%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>2019 年度の粗鋼生産は 2018 年度をやや上回り、鉄鋼脱酸用アルミも前年度をやや上回る見通し</li> </ul>

< 輸入 >

2018 年度 (+13.0%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>アルミ圧延品、アルミ製品ともに増加の見込み</li> </ul>
2019 年度 (+4.2%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内需要が低下することから、増加率は減少するも増加傾向は継続する見通し</li> </ul>

以 上

### ③ 製品別需要

2019年3月28日  
アルミニウム調査会  
(単位:トン)

製 品		年 度	2017	2018	2019	対前年度増減率	
			実績 平成29年度	見込み 平成30年度	見通し 平成31年度	18/17	19/18
圧延品	板類		1,069,998	1,012,074	994,350	▲ 5.4	▲ 1.8
	内自動車		173,775	181,800	185,000	4.6	1.8
	押出類		779,628	775,313	767,420	▲ 0.6	▲ 1.0
	内自動車		145,986	142,000	141,800	▲ 2.7	▲ 0.1
	計		1,849,626	1,787,387	1,761,770	▲ 3.4	▲ 1.4
	内自動車		319,761	323,800	326,800	1.3	0.9
鑄造品	自動車		415,950	425,750	431,000	2.4	1.2
	その他		29,307	29,300	29,300	0.0	0.0
	計		445,257	455,050	460,300	2.2	1.2
ダイカスト品	自動車		916,099	935,400	947,500	2.1	1.3
	その他		110,631	110,600	110,600	0.0	0.0
	計		1,026,730	1,046,000	1,058,100	1.9	1.2
鑄造品・ダイカスト品 計			1,471,987	1,501,050	1,518,400	2.0	1.2
鍛造品			46,361	47,300	48,000	2.0	1.5
内自動車			31,445	32,100	32,500	2.1	1.2
電線			26,635	25,700	26,000	▲ 3.5	1.2
鉄鋼			128,784	128,800	129,400	0.0	0.5
粉			10,985	11,200	11,400	2.0	1.8
その他			45,499	43,900	43,400	▲ 3.5	▲ 1.1
輸入			442,537	500,000	521,000	13.0	4.2
国内需要計			4,022,414	4,045,337	4,059,370	0.6	0.3
輸出			229,977	220,000	215,000	▲ 4.3	▲ 2.3
総需要計			4,252,391	4,265,337	4,274,370	0.3	0.2

自動車向け 合計                      1,683,255                      1,717,050                      1,737,800                      2.0                      1.2

注1) ▲印はマイナス

注2) 輸入は、「圧延品」「その他(粉、構造物、缶箱、台所用品、その他)」の輸入の合計数字(出典:財務省貿易統計)

注3) 輸出は、「圧延品」、「電線」、「粉」、「地金」の輸出の合計数字(出典:「圧延品」「粉」日本アルミニウム協会統計、「電線」日本電線工業会統計、「地金」財務省貿易統計)

#### アルミニウム調査会構成 (順不同)

アルミ缶リサイクル協会

一般社団法人 日本アルミニウム合金協会

一般社団法人 日本ダイカスト協会

一般社団法人 日本アルミニウム協会

一般社団法人 軽金属製品協会

一般社団法人 日本サッシ協会

一般社団法人 日本電線工業会